

議会報告会開催

平成30年11月11日(日)と18日(日)に第6回議会報告会を開催しました。今回は、初めての取り組みとして、常任委員会ごとに所管事務に関連する団体と意見交換を行いました。

総務常任委員会

×

秦野市消防団

参加人数：12人

消防団活動における課題や、それに対する行政のサポートなどについて意見が交わされました。



文教福祉常任委員会

×

秦野市民生委員児童委員協議会

参加人数：11人

移動支援や買い物支援などの高齢者支援施策、空き家対策などについて意見が交わされました。



環境都市常任委員会

×

秦野市商店会連合会 秦野市西商店会連合会

参加人数：13人

店舗の改装に係る補助制度の創設、地域活性化のための「ほっとワーク」開設などについて意見が交わされました。



▼委員会としての審査状況
委員会としては、「若年層の投票率向上のためには、高校生が選挙を身近に感じられる出前講座の開催やインターネットから簡単に選挙公報を閲覧できるように情報発信に取り組むべきであり、投票所についても若年層に親しみのある場所での開設を検討すべきである」との意見の一致を見た。

▼付託委員会
総務常任委員会
▼委員会としての審査状況
委員会としては、「若年層の投票率向上のためには、高校生が選挙を身近に感じられる出前講座の開催やインターネットから簡単に選挙公報を閲覧できるように情報発信に取り組むべきであり、投票所についても若年層に親しみのある場所での開設を検討すべきである」との意見の一致を見た。

▼採決の結果
委員会 採 択(賛成全員)
本会議 採 択(賛成全員)

若年層の意見を選挙に反映させよう

平30陳情第16号 投票率向上のため、高校生への選挙教育と選挙時の情報発信方法の見直しを求める陳情
▼願 意
選挙教育の出前講座では、動画などを用いて高校生が身近に感じられるような啓発方法とし、投票率向上の対策としては、QRコードなどを使用し、若年層の目に触れやすい媒体で選挙公報の発信をしてほしい。また、投票所を学校(大学や高校)やショッピングモールなど若年層に親しみがあがる場所に開設してほしい。



秦野高校生議会の報告書を提出

12月定例会、高校生が初めて陳情提出

平成30年11月27日(火)、(公社)秦野青年会議所が主催した「秦野高校生議会2018」の高校生議員が、阿蘇佳一議長と高橋昌和市長に報告書を提出しました。高校生議会でもまとめられた提言内容を基に、12月定例会に陳情4件(災害、観光、選挙、教育)が提出され、採択されました。

陳

情

(陳情・意見書は5面にも掲載)

▼委員会としての審査状況
委員会としては、「ピアサポーター能力の向上のため、ピアサポーターの取組みをさらに広げることと求める陳情」との意見の一致を見た。



秦野総合高校での模擬投票の様子

▼採決の結果
委員会 採 択(賛成全員)
本会議 採 択(賛成全員)

コミュニケーション能力の向上を目指す取り組みの促進を

平30陳情第18号 コミュニケーション能力の向上のため、ピアサポーターの取組みをさらに広げることと求める陳情
▼願 意
立場の異なる仲間とのコミュニケーションを通じて、人との関わり方を学ぶピアリーダー研修会に参加した中学生3年生を中心に下級生との交流の場をつくってほしい。また、ポスターやSNSを活用し、全生徒にピアリーダー研修会への参加を促してほしい。

▼付託委員会
文教福祉常任委員会
▼委員会としての審査状況
委員会としては、「ピアサポーターの取り組みについて、コミュニケーション能力などを向上させるためのツールとしての有効性に大いに期待するとともに、学校現場において、この取り組みをさらに進めていく上で課題となる要因は一つずつ丁寧に解決し、一層の拡充を図っていくことが必要である」との意見の一致を見た。

▼採決の結果
委員会 採 択(賛成全員)
本会議 採 択(賛成全員)

観光振興に 高校生の意見を取り入れよう

平30陳情第19号 若年層の意見を取り入れ、地域資源を活かした観光ビジネスモデルの実現を求める陳情
▼願 意
①高校生の意見を取り入れ、より具体的な観光事業を進めていくための場所の設置、②秦野の名産を使った飲食店やおみやげ屋など、秦野市や丹沢を今以上に発信する施設の開設、③秦野の水や山を生かしたイベントの確立、④SNSやインターネットなどデジタル媒体だけではなく、既存のポスターやチラシなどのアナログ媒体も併用した老若男女に対応した広報をしてほしい。

▼付託委員会
環境都市常任委員会
▼委員会での審査状況
委員会としては、「陳情事項に一部具体性が乏しい部分もあるが、秦野の未来に希望を抱き、高校生自らが発意した思いを最大限酌み取るべきである。また、陳情事項を実現するため、直ちに予算措置を要するものではないことから、この陳情は採択すべきである」との意見の一致を見た。

▼採決の結果
委員会 採 択(賛成全員)
本会議 採 択(賛成全員)

災害時に若い力を生かそう

平30陳情第17号 災害時のボランティアに関する陳情
▼願 意
本市が被災した際に高校生の力を最大限生かすため、高校生災害支援ボランティア団体の設立や体制づくりを支援してほしい。また、高校生に対し、防災知識や避難所開設時の協力事項などの勉強会や実践的な避難訓練などの定期的な講習会を実施してほしい。

▼委員会での審査状況
委員会としては、「高校生が主体的にボランティア団体を設立し、災害時に支援を行うため、防災知識習得に向けた定期的な講習会を実施してほしいという切実な陳情であり、このことは地域社会にとっても非常に有効な取り組みであるため、積極的に進めるべきである」との意見の一致を見た。

▼採決の結果
委員会 採 択(賛成全員)
本会議 採 択(賛成全員)